

ゆらあい、

NO. **258**

2018.6.30

LIONS CLUB INTERNATIONAL
DISTRICT 335-B
OFFICIAL PUBLICATION

ライオンズクラブ国際協会
335-B 地区広報誌

第64回地区年次大会



【特集1】チャーターナイト記念事業

【特集2】私のクラブ ◆和歌山南LC ◆串本LC
◆東大阪菊水LC ◆柏原LC

第64回地区年次大会

CONFERENCE OF
REPRESENTATIVES

代議員会

CEREMONY

大会式典

□山田元国際会長による基調講演



□梅花女子大学チアリーディング「RAIDERS」によるオープニングアトラクション



□地区旗引き渡し



□地区ガバナー表彰



□記念アトラクション

DINNER PARTY

地区ガバナー 晩餐会



中谷 豊重



ライオンズクラブ国際協会335-B地区
第64回年次大会 地区ガバナー晩餐会

ライオンズクラブ国際協会335-B地区 第64回年次大会代議員会



□国際関係表彰伝達



4月15日、第64回地区年次大会が開催されました。

まず、代議員会では、代議員によるスムーズな投票が行われ、吉村地区ガバナーエレクト、田中次期第1副地区ガバナー、中谷次期第2副地区ガバナーが信任されました。

またライフジャケット寄贈推進事業継続の件など、地区ガバナー提案8項目についても可決され、滞りなく終了しました。

大会式典では山田元国際会長をお迎えし、梅花女子大学チアリーディング部レイダースによるオープニングアトラクションで元気よく始まりました。そして、柿原地区ガバナーからの年次報告、山田元国際会長による基調講演、国際関係表彰、地区ガバナー表彰と進みました。今回、国際会長賞などの国際関係表彰の伝達は山田元国際会長にして頂き、ご登壇された皆様は誇らしげな表情をされていました。地区ガバナー表彰では、今年度、特に成果をあげられた多くのクラブが受賞されました。続いて記念アトラクションとして、梅花女子大学の梅花歌劇団「劇団この花」とオープニングで盛り上げて頂いたレイダースが登場し、美しさと力強い演技で会場を華やかにしました。最後に地区旗が柿原地区ガバナーより吉村地区ガバナーエレクトへ引き渡され、大会式典は幕を閉じました。

地区ガバナー晩餐会では邦楽ユニット「やしよめ」によるオープニング演奏で始まりました。会場は終始和やかな雰囲気に包まれ、閉会しました。

地区マーケティング・コミュニケーション委員長 児玉 和久



地区ガバナー 柿原 勝彦

今年度は特に「Weの力」を持つために、会員増強1,000名をいの一番に挙げ皆様の理解も徐々に高まり目標には及びませんが、それなりの成果を上げる事ができました。メンバー各位に改めて御礼申し上げます。

2つ目に挙げたLCIFへのご理解と協力に於いてもセミナーを開催し、十分な成果を見ることができました。3つ目に挙げた少人数クラブの基盤強化を図ることに於いては、クラブ合併も含め合同例会を開催するなど元気を取り戻されつつあります。4つ目に挙げたアラートチームの組織再編成に於いても350名程の地区アラートチームが結成され有事の時の災害支援の体制とやるべき事の役割も明確化されました。

今年度は意義あるセミナーも開催し、まずは日本糖尿病協会の協力のもと「糖尿病教育研修会」を実施、更に改定された必携に伴い「会則研修会」を開催、全クラブ会長と事務局員さんに真剣に勉強してもらいました。また、雨で順延された「ダメ。ゼッタイ。」

薬物乱用防止御堂筋パレードin2018」も300名を超えるメンバーの参加のもと、多くの街行く人たちにアピール出来ました。

その他各クラブに於いても地域に根差した様々な奉仕活動を展開して頂き「ライオンズクラブの誇り」を取り戻してきたように思います。

末筆になりましたが今年度キャビネット構成員として手となり足となりご尽力頂きました皆様に衷心より感謝申し上げます。これからもメンバー各位がそれぞれ「世のため人のため」に常に奉仕の心を忘れず持ち続け常に「ライオンズの誇り」を胸に地域の人々から「ライオンズは素晴らしい」と言って貰えることを願い、今後の335-B地区の更なる発展を願って止みません。

ありがとうございました。感謝



キャビネット幹事 奥本 耕三

キャビネット幹事としての1年間を振り返り、柿原地区ガバナーの強力なリーダーシップのもと、335-B地区運営の一端を担えた経験に感謝致します。特に貴重な指導、助言を頂きました。亀井元国際理事はじめとして名誉顧問の皆様にお礼申し上げます。

地区ガバナー公式訪問から始まり、キャビネット会議、各種委員会、各クラブの個性的なアクティビティ、周年記念行事、新クラブ結成等々に参加体験して、メンバーの皆様の熱いライオンズムに感激し、励まされました。

地域に根差したライオンズクラブ活動は、その地において無く

てはならない存在になっていることも、同時に知らされました。そこが「We Serve」の原点であり、それ故、次の世代に「継ぐ」責務があり、地域クラブの存続がかけがえのない大切な事だと気付かされました。

この1年間お世話になり、助力を頂きました。地区の皆様、キャビネット事務局、行動を共にした井出キャビネット会計に深く感謝致します。

1年間ありがとうございました。



キャビネット会計 井出 義晴

早いものでキャビネット会計に就任致しまして、1年が経過しました。実は私にとっては、一番苦手な役職でしたが、キャビネット関係並びに各種委員会の皆様のご協力を賜りこの1年を乗り越える事が出来ました。改めましてお礼申し上げます。

まず、地区役員・地区委員の方々との顔合わせ会に始まり、シカゴ国際大会を皮切りに、キャビネット会議、各種委員会、地区ガバナー公式訪問、チャーターナイト記念式典、東洋東南アジア・フォーラム（台湾・台南市）、地区年次大会、物故ライオンズ慰霊祭、そして奉仕事業の参加等、1年の大半を健康で楽しく過ごせた事が、良い思い出になりました。

会計役としましては、各クラブの予算の組み方、出向の仕方、剰余金の処分の仕方等がまちまちなのは少しびっくりしましたが、地区ガバナー公式訪問時に各クラブを訪問させて頂き少しは統一できたかなと思っています。

今後、これらの事を私のクラブライフに活かせるよう努力したいと思っております。

最後にこのような機会を頂いた高槻LCと、キャビネット事務局の方々の協力に感謝申し上げお礼の挨拶とさせていただきます。



地区ガバナーエレクト 吉村 弘吉

第64回地区年次大会の次期地区ガバナー信任投票に於きまして、かくも多くのご信任を賜り、感激致しております。心から厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。この栄光に満ちた伝統ある「335-B地区」での職責の重さを考えますと、身の引き締まる思いがします。

ライオンズクラブ国際協会は、セカンド・センチュリーに突入し、更に挑戦し続けるLCIフォワードを発表しました。GAT(グローバル・アクション・チーム)を編成し、世界中のライオニズムを更に高みにあげていこうとする戦略です。もう皆様も充分ご承知のことと思います。

我が335-B地区においても、各クラブやキャビネット組織にGATを構築し、LCIフォワードを推進していく所存です。幸いにも、335-B地区は日本においても世界においても、比類なき人材の宝庫の地区であります。その優れたメンバーと共に、「友愛と相互理解」の精神で活動できることは、私にとって幸せであり、誉れであります。

感動を呼ぶ奉仕で奉仕受益者数と奉仕賛同者を増やして、クラブ力を向上させたいと願っております。

さて、私は第2副地区ガバナーの時、川野前地区ガバナー・名誉顧問会議長より「夢と情熱」「We Serve We Smile」という熱き志をご教示頂きました。そして第1副地区ガバナーの今年度、柿原地区ガバナーより「すべてに“愛”をもってWe Serve」「新たな“階”(きざし)を」という心構えを啓発して頂きました。

今の私は、この偉大なる先輩地区ガバナー達の足元にも及びませんが、不断の努力をもって、一歩ずつ近づきたく思います。

どうか皆様、私を温かく見守って頂き、またご指導・ご鞭撻を頂きますことを切にお願い申し上げます。

335-B地区の発展のために、粉骨砕身努力することを皆様にお願い申し上げて、就任の挨拶とさせていただきます。



次期第1副地区ガバナー 田中 敏朗

第64回地区年次大会に於いて、次期第1副地区ガバナーの信任を頂きありがとうございました。今年度、柿原地区ガバナーは会員増強を1番に掲げられ「すべてに“愛”をもって We Serve」をスローガンに、「Weの力」で新しい奉仕を行い、新たな仲間を増やすべく「Ask1」を普及され、大きく変革を進められました。会員増強においても大きな成果が実現され、大躍進しました。

吉村地区ガバナーエレクトは「全ては“We Serve”の為に～改革にチャレンジ そして前へ!～」をスローガンに掲げられ、「LCIフォワードを推進し、奉仕の感動で皆を幸せに!」を基本方針とし、奉仕の精神を強化・拡大し、会員増強のために

「Ask1キャンペーン」を実施し、クラブ改革と全ての方に幸福が訪れるよう願われております。

吉村地区ガバナーエレクトの陣頭指揮のもと、メンバー全員で335-B地区を盛り上げ、各クラブの発展を願い、私の使命を全うし、ライオニズムの高揚に努めて参ります。

どうぞ今後とも皆様のご指導ご協力をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。



次期第2副地区ガバナー 中谷 豊重

第64回地区年次大会に於きまして、次期第2副地区ガバナーに信任頂きました。

顧みれば私は、1991年に岸和田LCに入会させて頂き、あっという間に20数年が経過しました。当時29歳でした。

これまでの間、ライオンズからたくさんの友人・知人との出会いを頂き、様々な経験、多くの勉強をさせて頂き、自らを成長させて頂きました。ライオンズというものの魅力は他にたくさんあるかと思います。また、メンバーが100人いれば100の魅力があり、100の想いを持ってライオンズメンバーとして活躍されています。私は、ライオンズの魅力をより多くの方々に伝えていきたいと考えています。

現在、入会した20数年前とは異なり、時代の変化と共に、ライオンズクラブをとりまく環境は内外共に厳しいものがあります。

吉村地区ガバナーエレクトのもと、田中次期第1副地区ガバナーと一致団結し、335-B地区のため、ライオンズクラブのため、汗をかいていきたいと決意するところでございます。

若輩者ですが、ライオンズメンバーの皆様のご指導、ご鞭撻を頂き、ご支援賜りますことをお願いし、挨拶とさせていただきます。



①1年を振り返って

②次年度のリジョン・チェアパーソンへ一言

1R

RC 中塚 磨由美



- ①100周年記念奉仕チャレンジから1R合同の若年層を巻き込んだ大学内での合同献血や糖尿病勉強会を実施。チャリティーコンサートではMBSにも協力頂いて府内の女性80名へ無料乳がん検診を行い青少年育成と地域奉仕を行いました。クラブ支部結成も実現しました。
- ②今年のご縁を大切にご自身のペースでご活躍下さい。

3R

RC 植本 景太郎



- ①地域に密着した合同アクティビティを主として第7回東日本大震災復興支援クリスマス・チャリティコンサート、糖尿病教育セミナーを実施、リジョン内の交流を深めながら、PR活動を通し会員増強に努めて参りました。
- ②引き続き、次世代を担う青少年へ「We Serve」の心を繋がるべく、新たなグローバル奉仕の取り組みを願っております。

5R

RC 藤原 彰



- ①次年度より多少クラブ内組織が変わるが、基本的にはライオンズクラブのモットーは「We Serve」。より一層の地域奉仕と共にライオンズクラブ認知度を高めるため、助力したい。
- ②地区ガバナー方針100%達成を目指し、思う存分力を発揮して頂ける方だと確信しております。

7R

RC 片岡 惟行



- ①各クラブ間の団結をより強固にすることを目指して、リジョン合同で例会、糖尿病啓発事業、交流ゴルフを実施。各ゾーン単位での会員増強対策協議会を行い各クラブの内情も把握でき会員増強に結びつけることができたが、少人数クラブの問題という課題を残した。
- ②各クラブでの糖尿病啓発事業を継続できるよう支援、指導をお願いします。

9R

RC 芝 吉信



- ①2人のゾーン・チェアパーソンと地区委員に感謝します。また、15クラブの皆様、色々申し上げたにも関わらず、多くのご努力とご協力に感謝します。
- ②時には強く、時には優しく。

11R

RC 岩下 登



- ①特筆すべきはライオンズクラブカップ2018に併設した「第1回11Rライオンズ祭り」です。当日は選手の応援や屋台出店、献血活動を行い、ライオンズクラブの知名度向上に貢献、合同事業資金の確保も行いました。
- ②「11Rライオンズ祭り」を更に進化させ、会員増強と11Rの活性化(クラブの統合)に繋げてほしいと考えます。

2R

RC 原 佐知子



- ①会員減少が最大の問題。たくさんの会員がいてこそ奉仕活動も出来ます。合同のアクティビティ、例会などで交流を図ったり、会員の負担を減らす工夫も必要でしょう。
- ②リジョンが活気づくような運営をして頂きたいです。

4R

RC 田 達満



- ①ライオンズクラブが更に地域社会で喜ばれ認知されるよう今後も社会奉仕に努めていきたい。
- ②リジョン・ゾーンは一つと考え、各クラブのアクティビティの周知を図り、相互に参加を呼びかけ、奉仕の拡大につなげて頂きたい。

6R

RC 武友 良雄



- ①各クラブの努力により6Rとしては大きな入会数を達成できました。今後も会員増強に尚一層の努力をして参ります。
- ②会員増強、また同じ一生を送るのに人や地域に奉仕していく事が、ライオンズマンの真骨頂である事をしっかりと受け継いで頂きたいと思います。

8R

RC 中谷 豊重



- ①会員増強について、8R2Zでは会員数・クラブ数の減少によりゾーン存続の危機的な状況となっていました。皆様のご協力により11名の純増となりました。メンバーの高齢化もありますので、安堵することなく会員増強をはかっていく必要があります。
- ②8Rは、いまだ苦しい状況が続いています。より充実した事業を行うため、会員増強をはかりましょう。

10R

RC 池上 省吾



- 10R初めての次期RC・ZC・地区委員の引継ぎ会を行いました。手探りでしたが、司会をゾーン・チェアパーソンにお任せし、有意義な引継ぎ会を催すことができました。

12R

RC 岡田 隆彦



- ①「汗・涙・酒」「垣根を越えた交流」の合言葉のもと、台風21号の影響の大きかった大和川、石川水域での河川敷を全クラブで清掃活動、河内長野「土砂災害」のため河内長野市社会福祉協議会へ8,000枚の「土嚢」寄贈、また2つの女性クラブのチャリティーゴルフコンペの支援を行いました。会員増強は「一」にはならなかったですが、目標達成は出来ませんでした。
- ②ライオン歴、年齢とも大先輩であり、大いなる発展をされと思います。

各種委員長ご報告

①1年を振り返って

②次年度の各種委員長へ一言

100周年委員長 片淵 昭人

- ①2014年から始まった100周年記念奉仕チャレンジは2018年6月をもって完了します。今年度も多くのクラブがコミュニティ・レガシー・プロジェクトの実践に、ご理解とご協力頂いたことに感謝申し上げます。
- ②次の100年に向けてライオンズクラブメンバーのご活躍を期待しております。



GLT・次世代リーダー育成委員長 高木 陽一

- ①GATの一翼を担う委員会として、会員の質向上を目指した活動を行なってきました。地区委員をはじめご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。
- ②新世紀のライオンズクラブを担う人材育成に向けての活動を期待致します。



マーケティング・コミュニケーション委員長 児玉 和久

- ①「MC」という新しい委員会名で出発しましたが、12名の地区委員さん、メンバー全員が活発に活動して頂いた充実した1年でした。
- ②変わっていく仕組みの中で常に敏感に対応していく必要がある委員会だと思います。頑張ってください。



アラート委員長 平田 佳之

- ①北九州豪雨災害、台風21号での紀の川市冠水被害でアラートの重要性を実感させて頂きました、この経験を生かし今後はクラブで地域の社会福祉協議会とより一層の連携を図って参りたいと思います。
- ②情熱ある委員4名が残って頂き、次年度は委員12名になりますのでより実践力のある委員会を望んでおります。



ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員長 東 進明

- ①薬物乱用防止御堂筋パレードは許可をもらうのに、警察との折衝に時間をかけましたが、道筋をつけたので、次年度も是非実行してもらいたいと思います。
- ②時代の変化に合わせてアクティビティを進化させて下さい。



ライオンズ慰霊委員長 小川 哲男

- ①心配していた南海電車高野線の運転見合わせは3月31日より運転再開し、慰霊委員・実行委員の皆様はもちろん、伊都高野山LCの全面的なご協力のおかげで小雨の中厳かに無事に終えることが出来ました。
- ②次年度は快晴であることをお祈りします。



会則委員長 八木 勝治

- ①次年度より従来の役員構成がGAT組織に変更するにあたり、3人の素晴らしい講師と要望のあるクラブへ、南は勝浦LC、北は高槻LCまで合計30ヵ所説明に回りました。
- ②次年度以降、各クラブが国際協会のルールに則り運営をして頂ければ幸いに思います。



FWT委員長 鯖江 敏子

- ①「会員増強1,000名」の目標に向かい女性会員・家族会員増強に邁進しました。GMT委員会との連携で次世代を担う支部作りにも取り組み1歩でも目標に近づけるよう努力を重ねてきました。
- ②「会員増強1,000名の壁は厚い」の一言、今後も努力を続けていって下さい。



YCE・レオ委員長 大塚 純子

- ①海外を見た派遣生、日本を知った来日生、レオの活動に参加し、これらの活動がきっかけで若者の人生が変わることを目の当たりにできました。
- ②派遣・受け入れ共にもっと増えるようにお願いしたいです。一生青年ライオンの我々は若者と交わりパワーを倍増しましょう。次年度はYCEとレオが分かれます。それぞれの活動がより生かされることを期待します。



環境保全・アクティビティ委員長 松本 杜史子

- ①人の環と和！アルビニスト野口健さんの講演から貴重なことを学びました。一人では出来ない、短時間ではできない、環境保全活動の大切さと難しさがあります。
- ②身近で生活に密着した清掃活動や美化運動から和を広げ友情の環を広げて下さい。環境保全活動とライオンズは密接な関係にあると思います。



国際関係・大会参加委員長 正岡 章

- ①有意義で楽しめる国際大会やOSEALフォーラムに参加頂くために、大会内容や近隣観光地のPRや晩餐会の食事の工夫など、考えられるものを少しずつしてこれたのではと思っています。
- ②今後も、出来る範囲の工夫とPRをスピーディーに行なって頂きたいと思っています。



GMT委員長 西尾 良典

- ①多くの方にご無理やご負担をお掛けしたことをお詫び申し上げます。ご理解・お力添えを賜り心より感謝申し上げます。
- ②時代の変化、パラダイムチェンジは益々進み奉仕活動とは言え、環境の変化に対応し適応することが望まれます。次年度は更なる飛躍を祈念します。



クラブ活性サポート委員長 坂口 博文

- ①全てのクラブの活性を目的として活動させて頂きましたが、確信しておりますのは、私たちライオンメンバーは常に自身の活性を意識し成長する義務があるということです。
- ②今後とも、自身の活性を各クラブの活性に繋げて頂きたいと思います。



LCIF委員長 高橋 澄代

- ①今年度より各クラブLCIFコーディネーターが置かれ、LCIF例会「ワンコイン献金」等が実施されました。
- ②世界的に見れば、まだまだ支援を待ち望んでいる人々が数多くいます。「We Serve」をモットーとする私達ライオンズクラブは、LCIFの意義を理解して頂き、今後ご協力を宜しく願います。



献血・糖尿病教育委員長 内田 陽子

- ①早々に献血・糖尿病教育セミナーを開催し、年度初めから全力疾走。委員会メンバーの献身的な作業で糖尿病予防の教材も完成し感謝。あちこちで糖尿病教育セミナーも開催され、予防の大切さを伝えることができたのではと思います。
- ②献血は、少子高齢化に伴い血液の不足が深刻になることに備え、特に若年層献血に力を注ぎましたので、ぜひ継続して広めて下さい。糖尿病教育は、LCIFフォワードにも入っており予防の啓発を継続してほしいと思います。



年次大会委員長 桑内 義和

- ①第64回地区年次大会も皆様のご協力を賜り、無事終えることができました。柿原地区ガバナーが6R1Zからの輩出であることから、6R即ち北摂地区らしい年次大会を目指しました。
- ②和歌山からの地区ガバナーのもと、和歌山らしい年次大会の開催を期待致します。



335 複合地区行事

335複合地区第64回年次大会

地区マーケティング・コミュニケーション委員 杉本 光傑

5月20日、神戸ポートピアホテルにて、335複合地区第64回年次大会が開催されました。13時より代議員総会が行われ、6本の議案が採決されました。

14時からは「明日に向かって」と題して、車いすアスリート廣道 純様による記念講演がありました。廣道さんは高1の時のバイク事故で車椅子生活になり、その後の大分国際車いすマラソンで日本人初の総合2位、パラリンピック2大会連続メダルを獲得するまでの経験が話されました。常にポジティブ、非常に前向きな人生を送られていると共に、周りを導いていくパワーを持っておられ、勇気を与えられました。

記念式典では、335複合地区準地区の地区ガバナーが映像

を使った活動報告をされ、柿原地区ガバナーは会員増強を強調されていました。L柿原は335複合地区次期ガバナー協議会議長として複合旗の伝達を受けられ、更なる活躍が期待されています。

続く晩餐会では、神戸らしくジャズの生演奏を楽しみました。柿原地区ガバナーご夫妻に記念品が贈呈された際は、少し肩の力が抜け、一仕事終えた満足感が漂っているように見えたが、閉宴の挨拶では、335複合地区次期ガバナー協議会議長として、また次期ホストクラブの高槻LCのメンバーとして、次年度に向けての熱の入ったスピーチをしておられました。



地区行事

第4回キャビネット会議

地区マーケティング・コミュニケーション委員 徳村 初美

6月11日、第4回キャビネット会議がホテル日航大阪で開催されました。

まず、柿原地区ガバナーより今年度地区運営報告がなされ、今期の様々な活動が映像と共に報告されました。特に、地区ガバナー方針「会員増強1,000名」のための「ASK1」方針が実り、5月末で入会712名、退会326名で純増386名となり、335-B地区が会員数日本一かつ純増数も日本一になったとの報告がありました。これまで、335-B地区の会員数は毎年微減していたところ、今期、2R1Zの大阪ピースLCの新クラブ結成や6クラブの支部結成も重なり多くのクラブにご協力して頂いたことが純増に転じ、目標数に近い会員増強につながったとのことでした。

その後、各エリアリーダー、各リジョン・チェアパーソン、各種委員長の報告がありました。リジョン毎に悩みが異なるものの、会員の高齢化、会員数の減少による空洞化を防ぎ、ドロップを出さない工夫をされ、会員増強に力を入れていました。また次期に向けて、次世代の育成、LCIフォワード、糖尿病教育、アラート等、特にライオンズが力を入れていく分野について、報告がありました。

最後は、吉村地区ガバナーエレクトより「柿原地区ガバナーの明るさが、会員増強の成果に結びついている」とのお話があり、「これを次期にも発展させていく」との決意表明がありました。



ライフジャケット贈呈式 inぶっとく幼稚園(和歌山県有田市)

地区アラート委員長 平田 佳之

4月13日、学校法人ぶっとく幼稚園において南海トラフ地震に備えるライフジャケット贈呈式が行われました。この事業は335-B地区で3年目になり、1年目は1884枚、2年目は1397枚を贈呈しています。今年度も各クラブをお願いをし、ご協力頂いたライフジャケット事業協力金よりライフジャケット1864枚を和歌山県内の21の幼稚園・保育所・こども園へ寄贈することが出来ました。

贈呈式では 柿原地区ガバナー、吉村地区ガバナーエレクト、田中次期第1副地区ガバナー他、9R会長・幹事等の多くの皆様にご出席して頂きました。

ぶっとく幼稚園は海拔1.7mの所にあり、津波が起これば心配な場所ですが、このライフジャケットが使われる事の無いように祈って贈呈をして参りました、園児達においては贈呈式で1時間もの間、賢く座っている姿に感動させられました。

この事業は今後も続いて参りますので、引き続きご協力賜りますようお願い致します。

今年度、協力頂きました皆様に感謝致します。ありがとうございました。



第43回物故ライオンズ慰霊祭

地区マーケティング・コミュニケーション委員 櫻田 総一郎

5月13日、高野山大霊園に於いて時折雨が強く降るあいにくの天気でしたが、289名の参加者の中、第43回物故ライオンズ慰霊祭が執り行われました。

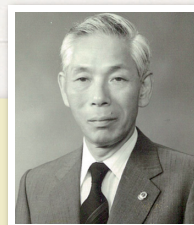
祭式が始まるまでの間、奥村笛心師による尺八奉納が行われていて、厳かな雰囲気を醸し出していました。定刻少し前に柿原地区ガバナーの挨拶があり、その後奥本キャビネット幹事による司会、小川ライオンズ慰霊委員長の

祭式の詞で慰霊祭が始まりました。

刻銘版には65名の物故ライオンのご芳名が刻まれ、代表拝礼、井出キャビネット会計による物故ライオンご芳名奉読の後に刻銘版が奉安室に奉納されました。

続いて代表献花、慰霊の詞、ご遺族献花、総員献花と進行していきました。

柿原地区ガバナーによる慰霊の詞では、5,519名が合祀された慰霊碑に向かい、今は亡き故人の遺志を引き継ぎ更なる社会奉仕に今後とも精進することが誓われ、無事に慰霊祭が終了しました。



梅井龍一元地区ガバナーを偲ぶ

元地区ガバナー・名誉顧問 加納 久雄 (1983~84年度 キャビネット幹事)

2017年8月、L梅井龍一が100歳と7カ月の長寿を全うされました。

L梅井は復員公認会計士として、会計事務所を経営される傍ら、1961年2月に堺LCに入会され、56年の長きに亘り、7RのZC、RC、キャビネット会計そして、1983~84年度には地区ガバナーとして、地域社会の奉仕活動に専念され、地区の発展に大いに貢献されました。地区ガバナー在任中の輝かしい奉仕活動の1つに、青少年健全育成を趣旨にした10R1Z白浜南LCの提案による、白浜坂田山公園内に青少年研修センターを地区全クラブの合同アクティビティとして、白浜町に寄贈したことがあります。

この合同アクティビティは、ライオンズクラブ国際協会の会則に従い、1つのクラブからの提案をキャビネット会議の賛成を得て地区ガバナー諮問委員会を経由し、各クラブの

全会員の賛同を得て優待・不在会員を除く全会員約15,000名に、1人当たり1万円の拠出を頂き、計1億5,000万円の資金で実施したものであります。

当時の会員数は大阪府内9割に対して和歌山県内1割。「なのに何故和歌山県内にするのか？」との反対意見も多々ありましたが、行政のエリアではなく「ライオンズクラブのエリアである335-B地区は1つ」の見解を梅井元地区ガバナーが強調され、全会員の賛同により335-B地区55年の歴史における、最大の地区合同アクティビティが実現しました。

その後、この青少年研修センターは今日まで大勢の青少年の研修施設として利用されています。



次年度クラブGATセミナー

地区マーケティング・コミュニケーション委員 杉本 光傑

5月28日、大阪国際会議場にて、次年度クラブGATセミナーが開催されました。

今年度のクラブ組織変更に伴い、各クラブから次年度のグローバル・アクション・チーム(会長、GST委員長、GLT委員長、GMT委員長)4名、総勢約650名が受講しました。

第1部全体会議では柿原地区ガバナーが335-B地区の現況について、映像を用いて解説されました。今年度の活動報告がなされ、地区ガバナーによる4つのお願いへの協力に対する謝辞が述べられました。それは達成感に満ちたものに感じられました。

次に、吉村地区ガバナーエレクトから次年度地区運営の基本方針についてのお話がありました。グドラン・イングバドター次期国際会長の方針が紹介され、続いて地区ガバナースローガン『すべては“We Serve”の為に～変革にチャレン

ジ、そして前へ！～』のもとに『LCIフォワードを推進し、奉仕の感動で、皆を幸せに！』という地区運営基本方針が解説されました。「奉仕受益者数5万人、会員増強1,000名」という高い目標を力強い言葉で述べておられました。

更に、LCIFについては北畑次期LCIFコーディネーター予定者より、クラブ会計については井出キャビネット会計より、次年度行事予定と留意事項について児玉次期キャビネット幹事予定者より、それぞれ説明がなされました。

その後、第2部分科会が、会長・GST委員長分科会、GLT委員長分科会、GMT・FWT委員長分科会の3つに分かれて実施され、熱心な講習がなされました。

LCIフォワードの推進に向けて、クラブGATのご活躍を期待しております。



次世代リーダー 育成セミナー

第6期生 第8回

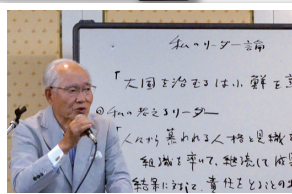
5月17日、ホテル日航大阪にて24名の受講生が参加で開催されました。今回をもって、第6期生の修了となります。

高木GLT・次世代リーダー育成委員長の開会の挨拶では「セミナーで得た知識をライオンズクラブに還元して、クラブの次代を担う人材になって欲しい」とのお言葉がありました。

次に、菅元地区ガバナー・名誉顧問による、「私のリーダー論」と題した講演がありました。

リーダーシップの奥義とは、

- ①方向を示し、目指すものを持つこと(Vision)、②自ら行動を起こすこと(Action)、③何が起ころうとも倒れない、へこたれない、そして使命感を持つこと(Mission)、④情熱をもって、誠実に事に当ること(Passion)、⑤周りの人と十分な話し合いの出来ること(Communication)



地区マーケティング・コミュニケーション委員 杉本 光傑

であると教示下さいました。経験に裏打ちされたもので、強い説得力がありました。また、菅元地区ガバナーの考えるリーダーとは「人々から慕われる人格と見識を持ち合わせ、組織を率いて、継続して成果を出し、結果に対して責任を取ることの出来る人」だと述べておられました。

その後の受講者による3分間スピーチでは「セミナーの成果を自分のクラブに持ち帰って役立てたい」「自分自身の役にも立った」などの意見が聞かれました。受講者はセミナーの成果を体感し、自信に満ちていました。

続いて閉講式が行われ、柿原地区ガバナーから終了証並びに記念品の授与が行われました。第6期生の中から、次期の地区委員長予定者を2名輩出しており、両名の活躍と共に、他の修了生の更なる飛躍、そして未来の地区ガバナーの誕生を心より祈念しております。



次世代リーダー育成セミナーを受講して…

2016年度より第6期生として2年間次世代リーダー育成セミナーを受講しました。

思い返せば2016年8月5日に楠GLT・次世代リーダー育成委員長のもと開講式を執り行い西村GLT地区コーディネーターが初めてのセミナー講師として「スピーチ力を磨く」をテーマに12Rより36名の受講者全員が自己紹介を兼ねたスピーチでセミナーが開始されました。

最後のセミナーでは、菅元地区ガバナー・名誉顧問の講演があり、その中でも「リーダーシップの奥義」①方向を示し、目指すものを持つこと(Vision)②自ら行動を起こすこと(Action)③何が起ころうとも倒れない・へこたれない、

橋本LC 牲川 正次

④情熱を持って、誠実に事に当たること(Passion)⑤周りの人と十分な話し合いの出来ること(Communication)が心に残っております。またL管のリーダー論「人々から慕われる人格と見識を持ち合わせ、組織を率いて、継続して成果を出し、結果に対して責任を取ることのできる人」このような人になりたいと努力致します。12のリジョン代表として次世代リーダー育成セミナー研修を修了させて頂き、この6期生も各リジョンでこれからご活躍されると思います。

最後にこのセミナーに推薦して頂きました、L楠 富晴に感謝申し上げます。

第7期生 第4回

5月11日、第7期生第4回次世代リーダー育成セミナーが開催されました。

まず、八木会則委員長による会則セミナーから始まりました。ライオンズ必携第57版の主な会則変更事項を説明され、今後のクラブ運営方法等を指導されました。



地区マーケティング・コミュニケーション委員 吉永 さとみ

続いて会則クイズがありました。クイズ形式で会則を再確認し、1テーブル毎で回答を競い合いながら意識を高められていました。「国際協会のモットー”We Serve”は、どうやって決まったか？」などの「そもそも何で？」と誰もが気になるところからの問題出題が多く、各メンバー「へ～っ!」の言葉が多かったです。ちなみにこの問題の答えは「国際協会は応募期間を1953年の国際大会までとして[ライオンズを如実に物語、各国語に翻訳可能で5語以内]という条件でモットーのコンテストを行なったところ初年度は応募者約800名で少なかったため1年延長し、約6,000通の中から選ばれた。同じモットーが11名のライオンから寄せられた。」でした。

非常に興味深く、また受けてみたいと思うセミナーでした。



みんな集まれ!『ダメ。ゼッタイ。』 「薬物乱用防止御堂筋パレード in 2018」

EVENT REPORT

地区ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員長 東 進明

3月24日、薬物乱用防止御堂筋パレード in 2018が開催されました。

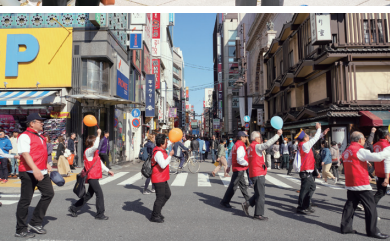
当初は2017年10月21日に開催予定で準備を進めていましたが、台風のため延期となり、今回はとてもいいお天気の日に開催することが出来ました。

当日は、常翔啓光学園高等学校吹奏楽部32名、ボーイスカウト12名、メンバー312名の合計356名にご参加頂きました。13時に北御堂の広場に集合し、3グループに分かれて隊列を組み、14時に出発しました。なんばマルイ前まで「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。」のシュプレヒコールをあげながら、パレードを行ないました。

沿道では、子ども達や若者、高齢者まで待ちゆく人々に注目されながら、薬物乱用防止を訴えることが出来ました。

大阪府東警察署と南警察署の応援、また1~4RのRC・ZC、マーケティング・コミュニケーション委員、環境保全・アクティビティ・献血・糖尿病教育委員、ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員、その他有志メンバーが様々な担当に分かれて誘導など、お手伝い頂きました。マルイ前では多くの着ぐるみの方に登場して頂き、チラシ配りの際にも一人ひとりに声をかけ、外国の方にも足を止めて話を聞いて頂くことが出来ました。

皆様お疲れ様でした。





大阪ピースライオンズクラブ 認証状伝達式



新クラブ結成!! おめでとう!!

大阪ピースLC チャーターナイト(認証状伝達式)

会長 豊池 重信

大阪ピースLCは3月6日に結成式を行い、5月31日に太閤園にて認証状伝達式を開催することができました。当日は大阪市都島区長林田様、中村国際理事をはじめ約215名の一般関係者並びにメンバー様にお越し頂きました。当クラブのチャーターナイト記念事業として、1つ目は大阪市

都島区役所へ「デジタルサイネージ」を寄贈しました。これは以前より大阪市都島区役所関係者から依頼があり、多くの方々へ地域の情報を迅速に提供し、お役に立てればと思い行なったものです。2つ目は東京ピースLCと友好クラブ締結です。2020年の東京オリンピック開催、2025年国際博覧会の大阪への誘致も兼ねて、情報交換し共に奉



仕活動をしながら日本を盛り上げていこうということで行いました。チャーターナイトには東京ピースLCよりL阿部かな子、他2名に来て頂き友好を深めました。

当クラブは次世代を担う若いメンバーが多く、いち早く皆様先輩方のように積極的に活動していけるよう頑張っ参りますので、ご指導の程よろしくお願い致します。

大阪北LC 結成56周年

糖尿病は重大な疾病にもかかわらず、日常生活で特に苦痛を感じないため、その予防については無関心な人達が多い。また、糖尿病予備軍もどんどん増えているのが現状であります。そこで4月22日、大阪北LCは結成56周年記念事業として、広く一般の方々に、疾病の内容と予防に向けた生活習慣の改善について認識して頂くことを目的に、専門医である十三市民病院の糖尿病内科 日浦義和部長による講演会を開催しました。十三市民病院と阪東医院(メンバーL阪東)

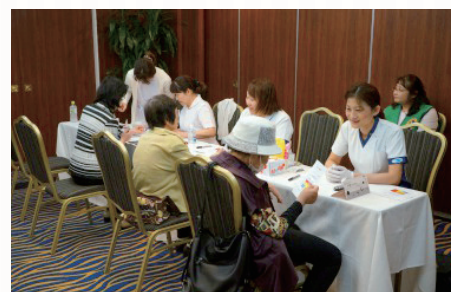
の看護師の方々の協力を得て、希望者の方には無料で血糖値検査と医師・保健師の相談受けて頂けるよう態勢を整えました。

糖尿病の話では、歴史上の人物が登場したり、市販の健康飲料や血液液に含まれる糖の量を角砂糖の個数で比較したりと、お年寄りの方にも分かりやすいように話して頂き大変好評でした。

当初、会場に用意した150席が埋まるのか不安でしたが講演が始まる前に、ほぼ満席状態となり、結果として来場者は164名、血糖値検査を41名の方に測定頂くことができました。そして、人集めの意味も込め、講演に第2部として「朗読劇」を実施しました。朗読と歌を元NHKの「うたのおねえさん」でよく知られた田中あつ子さん、そして

国内外で活躍中の高野久美子さん、ピアノを倉本洋子さんという素晴らしい顔ぶれで上演された朗読劇「ビルマの豎琴」は、ほとんどの人が映画で知っていても、素晴らしい語り口に涙ぐむ方が多くみられました。

最後まで席を立つ人もなく、この企画は本当に良かったと関係者みな喜んでいます。



茨木LC CN55周年

2017年8月10日～12日、茨木市と歴史文化姉妹都市である大分県竹田市を訪問する夏合宿を開催しました。今年度『祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク』に登録された大自然と、大分県の人々とのふれあい交流を目的として企画し、応募された茨木市の小学5・6年生25名の児童を一般の方、茨木LCメンバーが引率しました。

竹田市長表敬訪問の後、竹田LC、地域づくりグループのMMS21の皆様の歓迎を受けて祖母山でのトレッキング。大自然のマイ

ナスイオンを浴びた後は、名水の里と言われる大分県・竹田市の湧水群、日本の名水百選にも選ばれている湧き水が流れ込む中島河川プールにて河川水泳体験を行ないました。宿泊先は小学校であった校舎を体験・宿泊施設として有効活用されている『あ祖母学舎』でBBQ、キャンプファイヤー、星空観測を満喫しました。最終日は穴森神社へ行き『平家物語第八巻』大蛇伝説の残る洞窟探検です。神の里交流センター緒環では竹炭ペンダント作り、卯野農場ではスイートコーン狩り。甘く瑞々しい生のスイートコーンを頂き、何もかも初めての体験をそれぞれが存分に楽しみ、学びました。夏休みの楽しい思い出として、楽しい時間を共有し、交流の場となりました。

10月22日は竹田LCはじめ多方面からの来賓をお呼びし、記念例会を盛大に開催しました。晚餐会における元宝塚歌劇団の方々による迫力満点のステージは皆様にもご満足頂けたことと思います。

皆様から数多くのご教示や励ましを頂き、We Serveの精神のもと、更なる高みを目指して邁進したいと思います。



勝浦LC CN55周年



2月12日、今年度10Rで唯一の周年である勝浦LCのCN55周年の式典がありました。発表された記念事業は次の3点でした。1つは、地域保育園施設に「6輪ひなん車 キンダークライム」を寄贈したことです。これは震災が起きた時に、散乱した瓦礫やぬかるんだ道に子どもを乗せて乗り越えられる避難車です。保育施設では、普段のお散歩や、イベント時にも使って頂きます。2つ目は2018年4月1日に新築移転する「那智勝浦町立温泉病院」に記念碑を寄贈、3つ目はオリジナルエアー遊具を購入しました。これは若年層献血の一助に、小さな子どもがいと気軽に献血に行けないという声から、子育て世代が献血に協力して頂ける環境を作りたいとの発想から実施しました。小さな子どもが楽しく・安全に遊べる遊具を献血会場に設置します。小さい頃に献血会場で楽しい思い出があれば、やがて献血

が可能になった時に協力して頂けるのではないかと発想です。またデザインは地域（那智勝浦町・太地町）の特色を組み込んでいます（那智の滝・マグロ・クジラ・山や海の美しい自然環境）

式典が開催された後日に地方誌一面を使った勝浦LCのPR記事が掲載されていました。そこではノンライオンに対してクラブの活動状況が分かりやすくPRされていました。「町の未来へ、友愛の花を咲かせよう！」の文章中にはクラブ内の様子が伝わってくる言葉もあり、一緒にライオンズで奉仕しませんか？という言葉も自然に入ってくる内容です。

須川会長が一貫して訴えていたのはライオンズクラブのモットーである「We Serve」。我々は「個人」ではなく、メンバーをはじめとする「We」の力で地域に貢献するんだと熱く語っていた姿が印象的でした。

堺仁徳LC 結成55周年



3月2日、堺仁徳LC結成55周年記念事業として清水建氏をお招きし、記念講演を行ないました。

清水健さんは堺市出身で現在フリーアナウンサーです。2013年に結婚され、ご長男が誕生された後、最愛の妻である奈緒さんが乳がんのため、29歳という若さでこの世を去りました。現在は自身初の著書【112日間のママ】や【笑顔のママと僕と息子の973日間】を刊行し、また【一般社団法人清水健基金】を設立、代表理事をされています。

今回の堺仁徳LC結成55周年記念講演は入場無料で、入場券はインターネットと往復はがきで公募し、約750名のお客様にご来場頂きました。講演前には堺仁徳LCの専属キャラクター「ほたるう君」も応援に駆けつけて会場を盛り上げてくれました。講演中

の清水健さんはテレビで見るより意外と小柄できゃしゃな印象の方で小柄な身体を目一杯使って来場のお客様に自分の思いを伝えていました。お客様もまた、真剣な表情で耳を傾け、中には感動し涙される方もいらっしゃいました。講演の後半には、清水健さんの言葉をメロディーに乗せて親友であるシンガーソングライター白井大輔さんに歌って頂きました。白井さんの歌に清水さんは感極まり声を詰まらせる場面もありました。

熱い思いを込めた講演の後、来場のお客様に著書の販売とサイン会を行いました。丁寧に一人一人の声を聴き、握手やカメラ撮影にも応じてくれました。最後に堺仁徳LCのメンバーとカメラ撮影でCN55周年記念講演会は幕を閉じました。

CN周年記念

豊中南LC CN50周年



9月14日、豊中南LCCN50周年記念講演会として、豊中市立文化芸術センター大ホールで「今、私たちができることはなにか」という題材で講師に政治ジャーナリストである櫻井よしこ氏をお迎えしました。

当日の会場はほぼ満席状態で、櫻井よしこ氏の登場と同時に盛大な拍手が沸き起こり、食い入るように皆真剣にお話を聞かれています。

今現在日本が直面している北朝鮮のミサイル問題や諸外国から見られている日本の現状・立場などをお話頂き、今後日本はどう

いった精神でこういった行動を起こしていけば皆が幸せの道をたどれるかなどを会場の皆様に語り掛けて頂きました。

多くの方々に参加して頂き、盛大に行われました。



高槻中央LC CN40周年

高槻中央LCは今年度CN40周年を迎え4つの事業を行いました。

- ①1982年より36年間の継続事業である、北摂地区11園の子ども達の大運動会「北摂子ども大会」へスポーツタイマーを寄贈し、うどんの炊き出しを実施しました。
- ②1984年より34年間継続して支援している小学1～4年生の高槻少年サッカー大会「高槻中央ライオンズカップ」へサッカーゴールを寄贈しました。

③1989年から29年間継続事業である、視覚障がい者の方々とのバードリスニングを開催し、メンバー一緒になって楽しみました。また、白い杖20本を寄贈しました。

④2019年3月に開園される「高槻市安満遺跡公園」に時計台を設置・寄贈し、贈呈式を行います。(2018年9月末実施予定)北摂地区を大事に思い、メンバー丸となりWe Serve!!

9月末の時計台除幕式がとても楽しみです。



大阪新大阪LC CN37周年

2月3日、大阪新大阪LCは淀川区民センター1FホールにてGLS・障がい者支援チャリティライブ&コンサートを開催しました。

GLS (Good Living Support) は大阪新大阪LCの社会自立支援を目的に組織した継続奉仕事業です。初年である本年は障がいを持つ人たちを会場へ招待しました。

第1部は大阪府立東淀川高等学校吹奏楽部による演奏、第2部の講演は脳幹小脳梗塞で倒れ一時は植物状態を宣告された

がりハビリを重ね、温かい仲間の励ましで車いすに乗り出かけられるまでになり、唯一動く左親指にスイッチを挟み、相棒の「伝の心」(重度障がい者の意思伝達装置)を使い、毎日かかさずブログで気持ちを伝えている名倉康友氏による講演「チームyasuの取り組み」、第三部は1974年歌手デビュー、ドラマ、司会、CMで活躍、一時芸能界を離れていましたが、近年芸能界に完全復帰、一昨年30年ぶりにレコーディングされたシェリーのトーク&ライブの3部構成で、各クラブ、地域の方々のご協力により約300名の来場がありました。

音と声、そして手を通して、社会への不安、障がいを抱えている人が前へ踏み出す

一歩となることを願った当クラブメンバーの思いは、会場の皆様に伝わったことと思います。

これからもこのGLS事業が活発に継続できるよう、当クラブメンバー力を合わせ、活動していきます。



高槻グリーンLC CN30周年

高槻グリーンLCは5年前から、親と一緒に暮らせない子ども達が暮らす北摂地区の6施設が集まる女子バレーボール大会への支援を行なっています。5年間継続事業として、お弁当150食・トロフィー・バレーボール・参加賞を提供しています。

今回CN30周年を迎え子ども達に夢を与え、更にスポーツに打ち込む楽しさを知って頂たく、刺しゅう入りの優勝旗をプレゼントするために、チャリティーゴルフ

を企画致しました。チャリティーに参加した方々184名のメンバー、ノンライオンとたくさんの皆様に寄付頂きました。

おかげさまで刺しゅう入りの優勝旗をプレゼントできて本当によかったです。参加人数120名の子ども達が汗を流し一生懸命打ち込み、同じお弁当を食べ、「また来年も頑張ろう!」と思って頂くと共に「頑張った思いが将来の糧となるように強い力をもって1度しかない人生を楽しんで頂きたい」会長はじめメンバーの熱い思いが子ども達に伝わったと思います。

これからもメンバー同一丸となって素晴らしいアクティビティができるよう頑張ります。



岸和田コスモスLC CN15周年

2月10日、CN15周年記念事業として、岸和田市卓球連盟との協賛による「岸和田ジュニア団体卓球選手権大会」を開催しました。

オリンピックにおける日本代表の素晴らしい活躍もあり、今までより更に卓球が注目を浴びています。強化育成に力を入れているジュニア世代からも、次々と実力派の選手が出てきているようです。

岸和田・貝塚両市での競技人口も年々増加

しているそうですが、運営はやはりどこも大変だそうで、少しでもお役に立てればと、今回ご縁があり岸和田市卓球連盟が主催する「岸和田ジュニア団体卓球選手権大会」に協賛させて頂くこととなりました。

当クラブからは、優勝カップ2基、参加賞、練習球11箱を寄贈しました。特に練習球は、すぐに摩耗してしまうため大変喜んで頂きました。

開会式には、私たちもピンクのクラブジャンパーを着て参加しました。当日は、11団体250人の中学生たちが参加され、とても寒い朝でしたが、体育館いっぱい元気な声が飛び交い、若人の熱気にあふれ活気に

満ちた大会となりました。

あの会場から、未来の日本卓球界をリードしていく選手が出て来ることを期待して、今後も支援を続けていきたいと思っています。



八尾うぐいすLC CN15周年

10月9日、記念事業として今年で2回目となるチャリティーバザーを開催しました。昨年もメンバーの家に眠っている品物や協力して頂いた品を集め「誰かにとってはお役に立つかな?」と地元の商店街のメンバーのお店を借り、企画しました。

10円タオルを目玉に、チラシの効果もあり大盛況でした。今回は特に15周年でもあり、ライオンズクラブとしての活動の一端であることや、収益金を全て子ども達の施設に寄贈することを強調しました。「八尾の子ども達のために使われるの?じゃあ協力す

るわ!」という声も多く聞かれ、値切り交渉しながらも「やっぱり河内のおばちゃんたちはあったかいね!」を実感!

4月27日、ホテルモントレグラスミアにて記念例会を開催されました。12R1Zの5クラブがスポンサーとなり、1ゾーン初の女性クラブとして結成されたのが15年前。以来、クラブの特色を活かしたアクティビティと和気あいあいとした例会運営で活動してこられ、今ではゾーン内で欠かすことのない存在感のあるクラブとなりました。

記念例会はそのようなクラブの雰囲気そのままに、華やかな中にも凛とした進行で八尾うぐいすLCが益々発展し、存在感を増していくであろうとの期待をもって大きな拍手が送られました。



地区マーケティング・
コミュニケーション委員が取材する

私のクラブ

MY CLUB

インタビュアー：9R 片桐 章浩

INTERVIEW

和歌山南LC(9R1Z)

クラブ会長 L新井 節児
クラブ幹事 L古川 雅之
クラブ会計 L梅本 厚



片桐：貴クラブの特長、セールスポイントを教えてください。

新井会長：例会の雰囲気の良いが一番のセールスポイントです。

同志として団結力が強く、仲間と一緒に何かをすることが楽しいと思っています。

片桐：会長のテーマと活動方針について教えてください。

新井会長：「差し伸べる手に力 結ぶ友愛 拡がる仲間」です。アクティビティを通じてよい出会いをつくり、仲間を広げることによって会員としての自覚と団結を育んでいます。

片桐：会長がライオンズクラブに入会することになった理由など自己紹介をして下さい。

新井会長：若い頃からの趣味の「マジックをライオンズクラブの奉仕活動に生かして欲しい」とお誘いを受けたことが入会のきっかけです。元教師をしていたことから、青少年育成に努めてきましたし、教師の経験を生かして社会に貢献したいと思っていたこともあって入会しました。マジックを生かしたアクティビティは、今では和歌山南LCの特異なアクティビティになっています。

アクティビティを終えて帰る時、皆さんから「また来て下さいよ」「この次も楽しみにしています」と声を掛けてくれることがクラブとしてのやりがいになっています。

片桐：本年度、最も力を注いだアクティビティはどんなことでしたか。その結果を教えてください。

新井会長：もちろん、慰問活動です。高齢者施設への慰問は毎月1回以上実施していますから、今年も年間12回以上実施するペースで続けています。内容は会員全員による歌謡ショーと会長である私のマジックで、約1時間、入居者に楽しんでもらっています。

このアクティビティは、依頼に基づいて毎月の訪問している他、夏祭りやクリスマス会、新年会などでも実施しています。アクティビティを終えて帰る時、皆さんから「また来て下さいよ」「この次も楽しみにしています」と声を掛けてくれることが嬉しいことであり、クラブとしてのやりがいになっています。

おかげさまで反響があって依頼が増えているため、半年先までアクティビティの予定が埋まっています。

片桐：ライオンズクラブ誕生から100年で変革を指向しています。貴クラブが次の時代に向けて残すべきもの、変革して伝えるべきものなどがありますでしょうか。

新井会長：100年で時代は大きく変わり、人の考え方も同じように変わっています。

そのため組織も活動の内容も今の時代に合った共感を呼ぶものにしたいと考えています。

「ライオンズクラブのアクティビティもモノや金銭の提供よりも、汗を流す活動を行うべきだ」

片桐：ライオンズクラブ会長としてリーダーシップを図るために必要な要素はどんなことでしょうか。後にくるライオンズのリーダーに向かって発信して下さい。

新井会長：東日本大震災や熊本地震など、災害が発生した場合は被災地に全国から多くのボランティアが集まり支援活動を行っています。ライオンズクラブのアクティビティもモノや金銭の提供よりも、汗を流す活動を行うべきだと思っています。その姿がライオンズクラブのパワーになり蓄えられ、後にくるメンバーの力になると思います。



片桐：335-B地区の仲間にメッセージを届けて下さい。

新井会長：ライオンズクラブの根源にあるアクティビティは、汗を流す奉仕活動であることを感じるべきだと思います。

一生懸命、社会に貢献していると実感できること、その姿を見た人が「ライオンズクラブは凄いな」と思ってもらうことが励みになります。



地区マーケティング・
コミュニケーション委員が取材する

私のクラブ

MY CLUB

インタビュアー：10R 櫻田 総一郎

INTERVIEW

串本LC(10R2Z)

クラブ会長 L尾崎 和貴
クラブ幹事 L岡地 安生
クラブ会計 L小森 正剛

本州最南端 潮岬

ハイビスカス 串本ライオンズクラブ

10Rは本州最南端の町 和歌山県串本町にある串本LCの紹介をします。

私が最も関心のあった串本LCの継続アクティビティである
ハイビスカス作業例会におじゃましました。

(場所：馬坂ハイビスカス園地(4月第2例会))

櫻田：早速ですが、ハイビスカスの植栽事業を始めた理由
をお聞かせ下さい。

尾崎会長：1995年5月当時の会長L堀のもと、串本LCは本州
最南端に因んだ事業を考える中で、南国のイメージ
に相応しい「ハイビスカスの植栽」を計画しました。
自然あふれる本州最南端の南国ムードいっぱい
に彩ることにより、地域の方々及び串本を訪れる人々
の心にうるおいを与えることができればと願い、この
事業をスタートしました。

事業経過

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| 1995年 6 月 | 馬坂ハイビスカス園地に苗木
150本植栽(品種：レッドスター) |
| 1997年 5 月 | 35本を追加。挿し木苗作り。 |
| 1998年 5 月 | 前年の挿し木苗125本を植栽。
苗木1700本作る。 |
| 同年 9 月 | 串本町へ苗木600鉢寄付
(CN35周年事業) |
| 〃 | 串本町民へ苗木680鉢寄付(新聞チラシ) |
| 2001年 4 月 | 橋杭岩へ成木18本移植。 |
| 2004年 6 月 | 大島へ植栽(CN40周年事業) |
| 2005年 7 月 | 串本町商工会「花いっぱい運動」へ
ハイビスカス鉢寄贈。 |
| 2007年 7 月 | 献血時にハイビスカ鉢配布・・・
その後もキャンペーン時に配布。 |
| 2013年11月 | 串本町民大運動会に
ハイビスカ鉢600鉢配布(CN50周年) |

その他、毎年、挿し木苗を作り、年間を通じてメンバーが
除草、施肥、植替え等の労力奉仕を行い、
ハイビスカを維持管理しています。



串本町の地域では、
「ハイビスカス」といえば“串本LC”と
言われるほどになりました。

櫻田：言わば、今年度の地区環境保全・アクティビティ委員会が推進している「花いっぱい運動」を23年間行なわれているわけですが、これまで続けてきてどのように思われていますか。

尾崎会長：当初は害虫駆除、また冬季の寒さによる枯れなど試行錯誤の連続でしたが、23年を迎えて、メンバーによる除草、苗木作りも恒例作業となり、この地域で「ハイビスカス」といえば“串本LC”と言われるほどになり、近年では毎年夏の風物詩としてTVや新聞記事として紹介されるようになりました。

櫻田：その他自慢のアクティビティをお聞かせ下さい。

尾崎会長：今年で33年目になる年13回の献血奉仕や7年目となる橋杭岩海岸の清掃奉仕があります。

過疎化、高齢化の中で無理せず今秋 CN55周年を迎える歴史ある串本LCを メンバー全員で繋いでいきたい・・・

櫻田：串本LCの自慢をお聞かせ下さい。

尾崎会長：まず「少人数クラブならではの団結力」です。現在、会員数は40歳代～90歳代のメンバーが25名（賛助、家族会員を除く）です。

結果、①メンバー間の意思の疎通が早く事業の提案から実施までが早い。

②新メンバーも即戦力となり幅広く経験できる。

③忌憚なく意見の交換ができる。

また、少人数クラブはもちろんデメリットもありますが、過疎化、高齢化の中で無理せず今秋CN55周年を迎える歴史ある串本LCをメンバー全員で繋いでいきたいと思ます。

もう1つは「食事自慢」。これも少人数クラブならではの、**例会食事メニューを自由に変更**できます。例えば伊勢えび丼、うな丼、鍋焼きうどん、時には安価なおにぎり弁当等々。

メンバー一緒に美味しい食事をとりながら、楽しく例会を行っております。

次の世代の人達にも「愛」の気持ちを 受け継いで頂いて、ライオンズクラブの 歴史を繋いでいって欲しいと思います。

櫻田：最後に尾崎会長のライオンズクラブに対する熱い思いをお聞かせ下さい。

尾崎会長：今期のテーマ「愛と熱意でウィーサーブ」。

私は常日頃から「人を思いやる心、主体性を持って積極的に奉仕する」という事を自分に言い聞かせております。この思いを強くしたのは、2011年3月11日に起きた東日本大震災です。世界中の皆様から日本へ暖かい救援の手を差し伸べて頂いたことに深く感動しました。というのも我が串本でも遡ること120余年前にトルコ軍艦が座礁し沈没した事件があり、当時の人たちが不眠不休の救援活動を行なった歴史があり、イラン・イラク戦争でのトルコ航空による在留邦人の救出へと繋がり、現在まで日本とトルコの長い友情の歴史が続いております。詳細は映画「海難1890」を見て頂ければと思います。

この国、政治、文化、宗教を超えた繋がりにはまさしくライオンズクラブの「ウィーサーブ」の精神そのものであると思います。次の世代の人達にも「愛」の気持ちを受け継いで頂いて、ライオンズクラブの歴史を繋いでいって欲しいと願っております。

櫻田：尾崎会長、本日は貴重なお時間を頂き誠にありがとうございました。

取材を終えて・・・

今回参加させて頂いた「ハイビスカス作業例会」。見ていてとても綺麗なハイビスカスですが、花を咲かせるまでに下草を刈ったり、挿し木による苗木の鉢植えひとつずつの草引きをしたりと、人に見て頂く前の準備作業の大変さを知りました。23年に渡り地道に毎年繰り返される作業によって、地元の方々や串本を訪れる人々の目を和ませてくれていることを改めて感じました。また例会に参加させて頂き、尾崎会長が言っておられた通り、団結力のあるクラブであると感じました。

地区マーケティング・
コミュニケーション委員が取材する

私のクラブ

MY CLUB

インタビュアー：11R 金子 直樹

INTERVIEW

東大阪菊水LC(11R2Z)

クラブ会長 L五枝 繁樹
クラブ幹事 L池田 和弘
クラブ会計 L増尾 大介



東大阪菊水ライオンズクラブ CN50周年記念式典・祝宴



“CN50周年記念式典にマツケンがやってきた!!”

私は東大阪中央LCに2016年11月に入会し1年も経たずに地区マーケティング・コミュニケーション委員を仰せつかりました。現在分からないなりにたくさん吸収しようと勉強中です。そんな中、今年度最も印象に残ったものが、5月16日に開催されたシェラトン都ホテル大阪での東大阪菊水LCのCN50周年式典です。マツケンが登場しマツケンサンバを踊りだすではありませんか!!

今回このような機会を頂き、東大阪菊水LCに是非お話しを伺いたいと思い取材しました。

金子：50周年を迎えられた今、どのようなお気持ちでしょうか？

五枝会長：当クラブは、1968年チャーターメンバー47名にて結成して以来50年の長きに亘り、歴代会長をはじめ各メンバーが友愛と相互理解の精神のもと、「**We Serve をモットーに地域へ社会奉仕する**」ということを諸先輩方から受け継いでおります。紆余曲折はありますが、クラブ設立時は日本経済が高度経済成長期であり、メンバー数が47名から100名程に増え、そして入会審査も厳しく順番待ちで、またステータスとプライドをお持ちのメンバーばかりであったように思われます。いや、今のメンバーもその気持ちは充分あります。しかし、バブル経済崩壊、リーマンショックと日本経済がどん底に見舞われると同時に退会メンバーがとどまらず現在28名迄に落ち込んでいますが、現在はクラブメンバーが少ない分、メンバーが一丸となって事業運営を進めております。



金子：今回の周年記念アクティビティも16年間継続して支援されている東大阪市ミニバスケットボール協会へスポーツタオル寄贈など、地域への社会奉仕を大切にしていることが伺えます。

五枝会長：継続してアクティビティを行なうことで、地域より信頼を得ることができ、今年度の会長テーマ「夢と絆でWe Serve」にあるように地域の方々と深い絆を結ぶことが出来ます。

“東大阪菊水LCここにあり” 存在感をアピールできる式典を！！

金子：記念式典はどのように企画したのですか？

五枝会長：今回、記念式典実行委員長であり地区会則委員長でもあるL八木がメンバー全員を引っ張ってくれました。L八木は今回「ここに東大阪菊水LCあり！！」存在感を地域の方々、来場者にアピールできる式典を」と企画されました。L八木のリーダーシップについてこう思うメンバー全員が協力的に準備を手伝い、一体感をもって成功できました。

金子：昨今の335-B地区についてどのように思われますか？

五枝会長：世界が変革しており、ライオンズクラブメンバーは経済成長期のインドを始め、東南アジア諸国では激増しております。しかし、日本では会員数が落ち込んでいる、その中で335-B地区は会員数を日本一に取り戻しました。嬉しいですね。今や日本は少子高齢化国です。東大阪市民も10年先20年先には激減すると予想されており、50万人から38万人と、人口減少しているのに11Rではクラブ数が多いといわれており、先には統廃合の話もあると聞いております。



今後の第1目標は会員増強！！
そして地域の為に魅力ある奉仕活動で
奉仕受益者を増やし、
夢を語り合いながらの楽しい例会等、
絶え間なく向上するクラブを
作っていきます。

金子：これからの東大阪菊水LCについてお聞かせ下さい。

五枝会長：我がクラブにおいては、50周年という大きな節目を越えて、次の50年を目指し、しっかりと足元を固めると共にLCIフオワードに則った、新しい運営方針で大きな変革にチャレンジし、一步一步、確実に前へ進んで参ります。第1目標は会員増強、そして地域の為に魅力ある奉仕活動で奉仕受益者を増やし、夢を語り合いながらの楽しい例会等、絶え間なく向上するクラブを作っていきます。今後の継続事業は、青少年育成でのYCE派遣及び受け入れ、東大阪ミニバスケットボール協会への支援、献血奉仕は大阪商業大学、大阪樟蔭女子大学、布施工科高校、そして地域での献血奉仕を行ないます。そして、GSTの組織編成に伴い、より地域の為に魅力あるアクティビティをメンバー丸となって考え、奉仕受益者を増やしていきたいと思ひます。



地区マーケティング・
コミュニケーション委員が取材する

私のクラブ

MY CLUB

インタビュアー：12R 西森 葆彦

INTERVIEW

柏原LC(12R1Z)

クラブ会長 L福田 眞吾

クラブ幹事 L辺見 実

クラブ会計 L長尾 重司



西森：まずは自クラブの自慢をお願いします。

福田会長：『クラブメンバー同士の絆が強い』ということでしょうか。これは「柏原」という歴史ある地域性もあるかもしれませんが、メンバー同士の家族が何年にも亘り、お付き合いをしている方もたくさんおられます。そういった「絆」ですから、先輩ライオンの教えを連綿と受け継ぎながら、大きな団結力をもってまじめに地道にアクティビティに取り組むという姿勢が育まれたのではないかと思います。

西森：メンバー同士の付き合いの深さが絆となりアクティビティの質の良さに繋がっているという事ですね？

福田会長：実際3月に各地域で行われている「大和川・石川クリーン作戦」は20年以上前、柏原LCの先輩ライオンが始めた事業です。最初は柏原LCだけで細々と始めた事業にすぎなかったのですが、地道に継続して行う事で各所の賛同を得る事ができたのです。そして現在では国が主導しての事業となり、大阪府下のみならず奈良県の大和川流域の地域にまで発展しました。こういった成功体験が「私達の誇り」となり「行動原理」となっています。

西森：その他、継続事業もたくさん行われているとお聞きしていますが・・・。

福田会長：ライオンズクエストワークショップも今回で4年目となりました。今年度は大阪教育大学より3名の留学生の方もお招きしました。

西森：ライオンズクエストのワークショップに留学生！？言葉や文化の壁などは大丈夫だったのですか？

福田会長：この事業に海外の方を入れる事については、指導者の方でも初めてだということで、当初少し心配な部分もありましたが、全くの杞憂でした。逆に「コミュニケーションスキル」を磨くという点では他の受講者の方に良い影響を与える事ができたようです。



西森：良い事業は今後も是非続けて頂きたいと思います。
では会長、今年度特に力を入れた事業について
教えて下さい。

福田会長：ライオンズクラブ100周年記念事業として柏原市の
施設へプロジェクターを寄贈したことです。この施
設は柏原市内外の方に広く活用頂いているにもか
わらず設備が経年劣化しておりました。

西森：これは市民の方に喜ばれたでしょうね。

福田会長：おかげさまで美しい画像が投影できると皆様に喜ば
れています。また今年度、台風21号の影響でたくさ
んのゴミが散乱してしまった大和川流域をなんとか
美しくしたいと考え岡田RCにご提案し12R内のク
ラブに働きかけて頂き12R合同で「大和川・石川年
末特別清掃」を実施しました。

西森：ゆうあい257号にも掲載されましたね。

福田会長：急な開催で市民の皆様へは、折り込みチラシを1週
間前に配布させて頂いただけでしたが、多方面から、
柏原の清掃部分だけでも300名を越えるご協力を
得る事ができました。他クラブの方には流域のみな
らず、見えない箇所でも清掃をして頂いていた事に対
しても感謝の気持ちでいっぱいです。

西森：市民を巻き込んだ良いアクティビティになったので
すね。あと、SNSで拝見したのですが、今年度の献血
奉仕の記念品を工夫されてたくさんの協力を得る事
ができたとか？

福田会長：今年度は献血の記念品として初めて「鉢植え」をお渡
ししたのですが、これが大好評でした！先日、母の日
の前に行なった献血奉仕ではカーネーションの鉢植
えをお渡しし、たくさんの学生さんのご協力を得る事
ができ採血数が前年比10%以上アップしました。

西森：なんでも工夫が必要という事ですね。クラブ内の行
事は何か工夫をされていますか？

福田会長：「楽しくバラエティに富んだ例会」ですね。4月のお花
見例会ではクルーズ船を貸し切ってお花見でした
が、他クラブのメンバーをお招きして楽しいひと時を
過ごしました。それから当クラブで忘れてはいけない
のは「探美会」です。これは約20年前からある同好
会でして、日本全国の名所・旧跡・寺社・祭りなどを
巡り見識を深めるという目的で、毎年1回旅行を計
画しており、ライオン・レディの方にも大変喜んで頂
いています。今年度は3月に京都観光をしました。

奉仕を期待して下さる方々のために 地道に奉仕活動を続け 知名度の向上を図るべき！！

西森：最後にライオンズクラブへの思いをお願いします。

福田会長：現在のライオンズクラブの弱点は「認知度」だと思
います。気の置けない友人ですら、正しい認識を得る事
が出来ずにいる現状です。会員拡大も最重要でし
ょうが、資質の向上も同時に重要課題であり、広報活動
の大切さも感じました。ライオンズには、ライオンズに
しか出来ない奉仕があります。献血や青少年の健全
育成は地味かも知れませんが、それを期待して下さ
る方々がいるのも事実です。少しでも規模を大きくし、
相乗的に知名度の向上も図るべきだと思いました。



<西森感想>

取材してみてわかったのは「柏原LC」の何事にも真摯
に取り組む姿勢。またそれに裏打ちされたクラブとして
の「クオリティの高さ」でした。次年度はCN55周年を
迎えられるとの事。益々今後の活躍な楽しいクラブ
であると感じました。



クラブ アクティビティ

CLUB ACTIVITY

大阪梅田中央LC・大阪曽根崎LC 合同アクティビティ

糖尿病教育セミナー

2017年11月2日、大阪工業大学梅田キャンパスに於いて「知っているようで知らない糖尿病」と題し大阪市立総合医療センター 糖尿病内科の細井雅之先生による講演会が開催されました。

毎年700万人が発症し、毎年380万人が糖尿病関連で死亡しているとのこと、確かに多い数値だとは思ものの、ピンときませんでした。しかし、この数字は

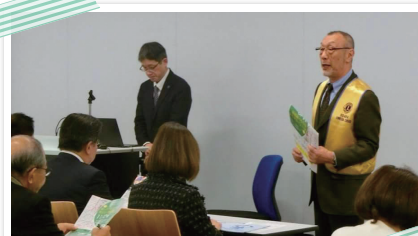
6秒に1人が糖尿病関連で死亡していることであるとい、その恐ろしさを痛感しました。

今回の講演では、中高年に多く自覚症状もないまま進行してしまう2型糖尿病について、細井先生の軽妙なお話で楽しく学ばせて頂くことができました。

予防として肝心なことは、食事による急激な血糖値の上昇を抑えること。まずは野菜から食べる。これだけでも上昇率に差が生じるそうです。清涼飲料水などの飲み物には糖分が多いためなるべくお茶や水に置き換える。食事の度に血糖値が上がるので、時間の間隔をあける。日常生活

でこれらを意識するだけでも、糖尿病予備軍を減らすことができるのです。

例会などで会食の際、メンバー同士で「野菜から摂りましょう」とお声を掛け合い、健康的なライオンズライフを送りたいものです。



1R3Z-大阪北LC

社会に巣立つ就職予定者に向けた薬物乱用防止講習会

2月24日、東天紅 大阪天満橋OMM店にて大阪市・大阪市児童福祉施設連盟が主催する【中学生・高校生就職予定者研修会】の中で「薬物の危険性について」をテーマに薬物乱用防止講習会を実施しました。

この研修会は継続事業で、様々な事情で施設に入所している今春就職予定の中学3年生・高校3年生を対象に「社会人

の心得」「ネットトラブルに巻き込まれない基礎知識」「テーブルマナー」など、社会に巣立つ子ども達に向けた講座です。

薬物乱用防止講習では、まずDVD「ダメ。ゼッタイ。」を視聴した後、映像を交えて、薬物の種類・一度の使用でやめられなくなること・乱用した時の恐怖などについて講義しました。受講生を相手に、薬物乱用防止認定講師が勧誘役となったロールプレイを行ない、薬物を勧められた時には、携帯電話が掛かってきたフリをして「急用ができたので帰ります」と、その場を逃げだしたり、何回もしつこく勧められたときは「私は絶対やりません」

ときっぱり断るなど、断り方をレクチャーしました。「薬物を勧める人は本当の友人ではない」を結論に講義を終えました。



3R合同アクティビティ

第30回国際平和ポスター・コンテスト 作品展・表彰式

2月17日～20日、第30回国際平和ポスター・コンテスト335-B地区・2R・3R合同作品展がなんばウォークのクジラパークで開催されました。17日のオープニングセレモニーには柿原地区ガバナーをはじめライオンズクラブ関係者40名あまり、表彰者のご本人とご父兄が参加され賑々しく執り行われました。

本年は特にイベントとして「大阪天水連」の皆様による阿波踊りを披露して頂いたところ、大勢の一般観客の方々に喜んでもらえることができました。

テープカットした後、場所をなんばウォークビルに移して表彰式を行いました。なんばウォークのような人のたくさん集まる場所で平和ポスターを展示できたことは、世界平和に対する子ども達の願いがご覧になった方々の胸に深く届いたことと思います。

またライオンズクラブの活動を広くPRできる絶好の機会になったことでしょう。



3R合同アクティビティ 糖尿病教育セミナー

3月12日、ホテル阪神に於いて3R合同糖尿病教育セミナーが開催されました。聴講者58名を対象に中村GST西日本エリアリーダーを講師として、パワーポイント『日本GSTの取り組む糖尿病啓発事業』に沿ってお話しされました。

LCIフォワードの推進に当たり「ライオンズは奉仕の原点に立ち返ろう」ということから、GST(グローバル奉仕チーム)を設置しました。そして日本レベルでは次の3項目がGSTの重要目標として実行に移されることになりました。

- ① 糖尿病啓発事業
 - ② ライフジャケット寄贈事業
 - ③ 子どもの貧困、
小児がん及び障がい者支援事業
- ライオンズの“糖尿病教育”アクティビティはこのような背景を認識して取り組まなければならないこと。またセミナーは自身の知識にとどめるのではなく、ライオンズクラブの糖尿病予防啓発活動の起点にしなければならないことに気付かされました。既に昨年9月、日本糖尿病協会(清野裕・関電病院総長)と日本ライオンズの合同委員会が設置され、今後両者が連携して糖尿病対策に取り組む体制がスタートしています。

各クラブにおけるGST組織の整備は来年度からになりますが、10人に1人が糖尿病患者で、6秒に1人が糖尿病関連

疾患で死亡しているという深刻な状況を少しでも改善するためにライオンズクラブの“糖尿病教育”アクティビティが貢献出来ることを願うものです!!!

[GST糖尿病啓発事業の具体的4目標]

- ① 糖尿病セミナーの開催
(メンバー向け、一般向け)
- ② 糖尿病啓蒙冊子の発刊(間もなく)
- ③ 糖尿病弁当のレシピ、チラシの推進
- ④ 11月14日の世界糖尿病デー
(インシュリン発見者バイディング先生の誕生日)に蛍光パネルの掲示を計画



6R1Z・島本LC お相撲さんとの ふれあい体験

3月29日、島本LCは島本町立第一中学校にてお相撲さんとのふれあい体験アクティビティを行ないました。このアクティビティは新規に計画し、島本町教育委員会、島本町社会福祉協議会、NPO法人島本町体育協会のノンライオンの方々に協力賜り、幼児から老若男女全ての方を対象にしたものです。

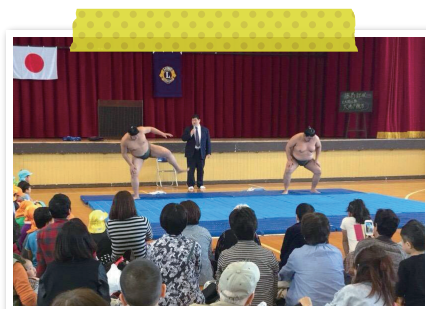
お相撲さんは、藤島部屋大鳴戸親方

はじめ力士の方々に来て頂きました。当日はマジックショー、大鳴戸親方講演、力士と参加者とのふれあいと大いに盛り上がり320名近い方々に喜んで頂くことが出来ました。地域住民と連携したアクティビティとして当クラブには今年46回目を迎える「島本町住民チャリティゴルフ大会」がありますが、今回ご縁がありこのような新規アクティビティが出来たことに感謝し、今後も様々なことに取り組んでいけたらと思います。

また当日、今までお相撲さんに興味のないお子様達が「お相撲さんと相撲をとったよね。」「また行きたいね。」等の感

想を頂き、日本の国技である相撲を身近に感じて頂き老若男女通して皆様が楽しめたことが私達の喜びです。

We Serve!



7R合同アクティビティ 糖尿病予防啓発講演会

2月16日、堺市産業振興センターにて、7R合同アクティビティ「糖尿病予防啓発講演会」を実施しました。

片岡RCの挨拶、堺市長のメッセージの後、柿原地区ガバナーが自身の糖尿病体験談を語られました。続いて、関西電力病院医師の田中永昭先生による「幸せを呼ぶ!糖尿病運動療法」の講演がありました。糖尿病がどのような病気かを

ユーモア交えながら説明された後、参加者全員で糖尿病に効果のある運動を体験しました。その場での運動でしたが、少し汗ばむぐらいの運動量でした。その後、堺市立総合医療センター管理栄養士の林佑紀先生による「ひと工夫!おいしい血糖値コントロール」と題して、色々な調理法が紹介されました。難しい料理ではなく、食べ方の工夫や一手間加えるだけの調理法で、血糖値をコントロールできることが紹介されました。

今回の参加者は、糖尿病にもともと関心のある方が多かったのか、熱心にメモを取りながら講演に聞き入っている姿が見

受けられました。また、運動療法も、楽しみながらも真剣に取り組んでおられました。

最後は、2度のがんを克服された経歴を持つ、かぐやwithクレセントガーデンによる音楽コンサートを楽しみました。



7R2Z 合同アクティビティ

小児がん患児と そのご家族への支援

3月24日、7R2Z 合同アクティビティ「小児がん患児とそのご家族への支援」が開催されました。5つの奉仕フレームワークのうち、「小児がん」の正しい理解と認知を目的としています。

第1部はラウンドワン堺駅前店でのチャリティボーリング大会。メンバー、一般合わせ67名の参加者が汗を流しました。往年のボーリングブームを経験した年配ライオンの活躍が目立っていました。

第2部はホテルサンプラザ堺ANNEXで懇親会がありました。光武綾様による講演会「愛してるよカズ」では、お子様を小児がんで亡くされた体験談をお話されました。抗がん剤の副作用対策に輸血が必要なこと、輸血が闘病中の子どもの笑顔が役立っていることをお聞きし、日頃の献血アクティビティの役割を再認識しました。

食事会、表彰式と続き、L仁田の軽快な司会進行でチャリティ・オークションを実施しました。また、洞淵ZC手作りのクイズを楽しみました。7R2Z一丸となって、このアクティビティを成功させようという一体感を感じた懇親会となりました。

なお、今回の収益金は、(公財)がんの子どもを守る会を通じて、小児がんで苦しむ子ども達を励ますためのプレゼントの購入資金に使われます。

また、参加賞として、小児がんの子どもたちを支える活動のためのシンボルマーク「ゴールドリボン」のピンが配られました。



7R3Z 泉大津LC

ドローン機学習会

1月27日、今話題の「ドローン機」を学ぶ学習会を主催致しました。泉大津市は積極的にドローンの産業化に取り組んでおり「ドローン教習所」を計画、それに先駆け当クラブが、小中学生や一般市民を対象に体験学習を行い、将来の可能性を実感して頂くことを目的としました。

当日1部ではインストラクター(日本ドローン協会)による基礎講習及び講師によるドローンカメラ使用の模範演技、2部では小中学生を対象に機体操作を行う体験学習で、43名に体験して頂きました。本事業は、他団体共同で取り組み、商工会議所青年部と共催、親睦も図る事ができました。PRとして泉大津市及び商工会議所広報誌に記事掲載、また教育委員会を通じて市内小中学校11校へポスター掲示、全生徒へビラを配布しました。また、地域ラジオ局(FMいずみおおつ)

に開催前にPRのため生出演、当日の実況中継の実施、ケーブルテレビのニュース番組で放映されるなど多くのPRをすることができました。



11R1Z 東大阪LC

鉄のボールモニュメント 除幕式・贈呈式

東大阪LCはラグビーワールドカップ2019・日本大会 東大阪花園ラグビー場開催記念として、花園中央公園内ラグビーの森入口に「ラグビーボール形状大型モニュメント 鉄のボール」をアクティビティとして寄贈致しました。12月25日に除幕式及び寄贈式を野田東大阪市長、柿原地区ガバナーにご出席を頂き執り行いました。

ラグビーワールドカップが東大阪花園ラグビー場での開催が成功するよう、

枚岡神社宮司等による「開催成功と安全祈願」のご祈禱をして頂きました。

当日は産経新聞社、また東大阪ケーブルテレビ等多方面から取材にお越し頂きました。翌日には、産経新聞の朝刊に大々的に掲載して頂き、このアクティビティが紹介されました。

ライオンズクラブ国際協会が100周年を迎え、これからの100年を目指してライオンズクラブ国際協会の方針のもと、今後もその意思を受け継ぎたいと思い、後任に引き継いで参ります。そして、ラグビーワールドカップ 東大阪花園ラグビー場モニュメント「鉄のボール」が30年・50年先まで、市民の皆様、各国から来られるお客様に愛され親しまれることを

望み、レガシーとして記憶に残るシンボルになる事を期待しています。また、青少年育成についても中学、高校生がラグビーを通じて人格形成が出来ればと考えております。また、来場者の記念撮影、待ち合わせの場所として活躍するものと思い、多くの方に愛され親しまれることを願います。



11R2Z・東大阪中央LC

献血奉仕



4月21日、東大阪中央LCはフレスポ東大阪にて献血奉仕を開催しました。

受付者数53名、採血者数46名と多くの方に献血頂きました。

通りすぎる方達へ丁寧に呼びかけをすることで足を止めて話を聞いて頂きました。ライオンズの活動を多くの方に知って貰う良い機会になったかと思います。



12R1Z・八尾LC

東弓削遺跡特別事業「いにしへの由義寺(ゆげでら)跡から」

3月29日、八尾LCが八尾市文化会館プリズムホール・小ホールにて特別事業「いにしへの由義寺跡から」を開催しました。約400人が参加し満席でした。

八尾市東弓削遺跡から発掘された由義寺の塔の基壇は歴史的発見として注目を集め、今年2月、国史跡指定となりました。『続日本記』の770年のところ

に記されていた称徳天皇と弓削道鏡が建立した由義寺の場所が明らかになり、「西の京・由義宮」の実態解明に迫る重要な発見として新聞、テレビ、ラジオなどが大きく取り上げました。

「いにしへの八尾を学ぶことで郷土愛を育ててゆきたい」という思いで特別事業を立ち上げました。子ども達が楽しめるようにと七重の塔や都の風景などをプロジェクション・マッピングでダイナミックに再現。影絵「称徳天皇と弓削道鏡物語」は劇団員による朗読が効果的でした。



クラブ例会

9・10R合同

第2回会員交流会

3月9日、ダイワロイネットホテル和歌山にて9R・10R合同第2回会員交流会が開催され、9・10Rの会員約300名が参加しました。

午前中は、JR和歌山駅で薬物乱用防止キャンペーンを行ない、薬物乱用防止

を市民へ訴えました。午後の式典には、スペシャルオリンピックス日本の理事である三宮 秀介様他2名の方にお越し頂き、お話を頂きました。また、在籍歴40年以上の会員と新会員の紹介があり、在籍歴40年以上の会員の方へ吉村第1副地区ガバナーよりお祝いの花束が贈呈されました。宴会の部では宮本静さんによる歌謡ショーや抽選会があり、参加者は交友を深め楽しみました。



11R1Z・東大阪LC

クリスマス家族会

東大阪LCは毎年、クリスマス家族会を行い1年間のお礼の気持ちを込めて、家族の皆様楽しんでもらえる例会を企画しており、今年度は、12月17日にUSJに於いて開催致しました。

柿原地区ガバナー、岩下RCを初め87歳のメンバーから孫まで総勢163名の参加頂き、特設会場ステージ33を貸し切り、クラブだけの特別なショーを鑑賞しました。まず塩川会長がエルビスプレスリー風の衣装で壇上に登場で挨拶し、柿原地区ガバナーの乾杯の発声で会がスタートしました。

食事中にフェイスペインティングやアメリカ本場仕込みの素晴らしいショー等。

観客一体となる振り付けダンスで盛り上がりました。キャラクターショーや、テーブルグリーティング等、家族と共に楽しいクリスマス家族会を過ごしました。



●ダウンロードの方法

※現在、スマートフォンかタブレットなどのモバイル（iPhoneかAndroid）のみでのダウンロードが可能となっており、パソコンでの使用は7月1日より可能になります。

【1】www.mylion.orgよりご使用になるアプリをクリックする。

iPhoneご使用の方は「App Store」、

Androidご使用の方は「Google Play」をクリック



【2】アプリ購入画面(App StoreやGoogle Playなど)で「mylion」と検索し、ダウンロードする。



編集後記

地区マーケティング・コミュニケーション委員
杉本 光傑

今年度最後の「ゆうあい」の発行となりました。私自身、初めての地区委員を務めさせて頂きましたが、例会訪問やゆうあいの取材などの活動を通じて、それぞれのクラブが特徴を出し、そこに個性豊かなメンバーたちが集結しているのだと感じました。自分の所属クラブにいたるだけでは経験できない1年となりました。また、今期のマーケティング・コミュニケーション委員会のメンバーは、老若男女が揃い、和気あいあいと楽しく活動できました。

MyLion日本語版が ダウンロード可能に なりました!!

LIONS CLUB
"We Serve We Smile"

●登録方法

「登録」より会員情報を入力し、登録して下さい。

会員情報はeMMR ServennAの「会員管理」「詳細」の「MyLCI Extension Forms」の登録情報と同じでなければなりません。

※複数の会員のメールアドレスをクラブ事務局のEメールアドレスに統一している場合はログインの際にエラーが生じてしまいます。eMMR ServannAの「会員管理」「詳細」の「MyLCI Extension Forms」より個人Eメールアドレスに変更して下さい。

●注意点

MyLionでの会員情報変更は絶対にしないで下さい。

国際本部のデータはローマ字で統一されていますので、漢字等に変更してしまうと国際本部のデータ上で分からなくなってしまいます。

●今後の活用方法

- (1) 今までMyLCIで行っていたアクティビティ報告が「7月1日」よりMyLionより行なって頂くことになります。
- (2) LCIFへの寄付が可能となります。

※詳細は後日CAB通達事項にてご案内します。

《クラブ支部についてのお知らせ》

「岸和田シニアLC桜支部が
活動拠点を大阪市内に移しました。
(大阪シニアLCに転籍)」



発行者:地区ガバナー 柿原 勝彦

発行:ライオンズクラブ国際協会

335-B地区マーケティング・コミュニケーション委員会

編集者:委員長/児玉 和久

委員/徳村 初美・風間 正信・田中 秀明

廣瀬 弘二・吉永 さとみ・伊集院 峰子

杉本 光傑・池田 博子・片桐 章浩

櫻田 総一郎・金子 直樹・西森 葆彦

事務局:〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-4-8 瓦町4丁目ビル2F

TEL:06-6222-7331 FAX:06-6222-7336

ホームページ:<http://www.lc335b.gr.jp/>